滅鐵正副總裁けふ各機關巡視

一日職婦天から繁進したが - 前頭正副機裁や木は飲市氏は約一ケ月振 時間について語

木村滿鐵理事談

## 南陸相 大佐は來十四日東京發歸任し 本庄軍司令官に傳達

歌に土肥原大佐た猫の水管、軍務局長、軍事際長等を招き午餐たさもにも席上土肥原大佐に難ら頭歌に土肥原大佐た猫の水管、軍務局長、軍事隊長等を招き午餐たさもにも席上土肥原大佐に難ら東ての趣きを本 庄 開東 軍司令官に傳達する事さなつた、館南壓棚は之に 焼立ち十二日正子文那側が正 式抗議を承認せざる場合の成案を得たので十四日夜東京養体室、東京特體十二日整計上京中の土肥原大佐は連旦春課本都が軍後、外務省管局と協議の結場高一

などについては

支那當局口外 保護能 中村事件はソ バン事件の反覆

倫敦タイムスの論評 タイムスは十一日の計談で日本の中村大肆問題はソーバン事体

常局は外人に對し充分の保護を與へるだけの能力がないのだ。 現所住の日米其他配消人は不断に関議や兵士から危害が加へらる。側さあるが、支那 に大なるかな語るもので、この事而には支那國民運動が漸洲の日本の軍大権途を無觀、最も鴻線ある日本軍隊が演習中飛行機から宣傳ビラル投下せる如き日本軍隊の衝滅

の言分に耳を傾けるの如何に慎しむべき必要ある。解約上の権利まで蹂躙されるを認識せるためだ、中村事件は今や

奉天軍少壯派に 强硬論者が多い 青木中佐の視察談

支那側の措置を諒とし

井上軍曹事件解決

ちの希望もあり辛林民政署長の手會職職會は市最日中大連市長の斡旋は大内職長か一般に保御されて 田中市長の辭字 關東廳に申は 認可は十四、 五日頃

四氏の選任を了る

田代領事發表

滞鐵の經費節約

高級ニューロークット の版止するに内定し所長率数で の版止するに内定し所長率数で の成か非掛け跡微後は差 にして存名な在紙筒の心上流

後は雑数氏以作がいている。 れなよそに見て職事を始める。 最近の水繋さ共康の凝紫さが図い

文鐵路派遣員

れる歌歌

ボイコット

事候に部とつい考へて見たい 彼の異るに從つて著るとく

五年の香徳封像における蘇光酸

を知って、織日職な民族能職能が年

まアの手から素味しやうさ死 まアの手から素味しやうさ死 はに半れの目的を達し、片流で 流に半れの目的を達し、片流で

作であり、 中に観さ、他界で 年に観さ、他界で がであり、 まつ

0

遠き人

0)

本器は米國デクトグラフ合 
加書進星(價格三拾圓以上 
加希望者は申込次第型錄載 
の小器械にして幾多の實驗 
の外器械にして幾多の實驗 
の情報を博する。

三郎

かジョア中心に柳橋 ルジョア中心に組織されたのは機関が、髪像なび代戦に聴立された指導

全さ利益さな例が十起き代版者であり、從つて彼等の

、関民無内の小

(東京特體十一日發) 塚本願東長 長官十四日に離京 間には接触しさする 東亞

総では十四、五日以後事務能指載になっては十四、五日以後事務能指載に たものさ全く並ふ脱裂は繁理中でためると動能すべきであると動能すれ を決議して地方支部となって演奏地区 事長に一位する事さなり第一般手 を決議したその管行が出け久服輸

が解へらる。如きものならば谷街 整理製したと音はれるがその内容 で田中女様は行政整理製験をは 折衝開始

政整理案の

見會な際艦、谷季最英人際庭外交 年後七時半本部に野支州交問題委 みんだので 滿蒙問題高調 でので十四日職家、十六日歳 政友委員會決議

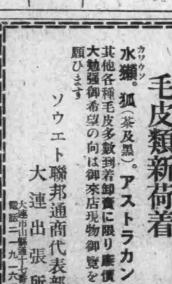
**小柄名ルナ「ンアフロセ」** 

透術美

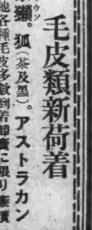
耐元のンアフロセ

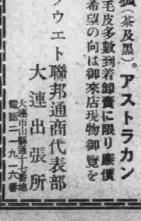
笠繇

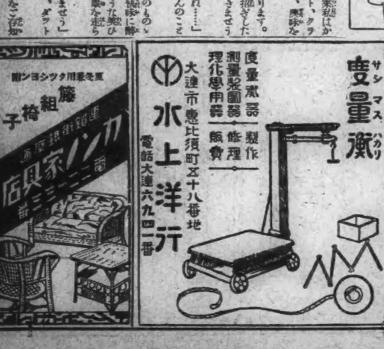
店賣販紙ンアフロセ外内 (側面第第例)五七日丁五町五匹東市駅大



長幸大阪一五六二八番電話 祗園三七五三番









### で、此既ポイコットの階級性、 衝突は廿日前後か 央兩軍形勢

織にありこと淡出掘った上度両軍の第一目標は輸州さ 上【上海十一日登】蔣代承氏は密京・歌を封添除近 兩廣軍の兵力約上 南京近衛兵等

胜在の第七版に

永井市助役出勤

· 陸原歩兵大佐 草場 辰已 建輪事務場託

さいたかけながら、松下的は近

進物用の

菓子罐容器は

京都製罐所

で正式養妻は餘程運れる機構

0

國際的サ

ON CHO

でれから端下を引つ返さってれから端下を引つ返さった。

米國デクトグラフス

それから二人は殿下を進んだ。それから二人は殿下であつて、作艦の殿下ル連振させた。 左右に室が並んでもて、天飛にが響いの旅ではなが、まばらに理解を持っていて起いてもた。 つておいてもた。

がへ歩いて来た

発がから松下伯散が、彼の

· 理東

店京

派 回 生 堂

商店

係し践村は大丈夫ださ思った。

らう後の祭だし

率大車務所地方課長 本大車務所地方課長

發序地方課長

海のでは、 一において田中市長を終三十分に 間において田中市長を終三十分に ではいて田中市長を終三十分に

高紀毅氏の

を十二日出帆大連丸にて

「馬鹿らしいちやアありません

一大れには極れたくないやうに「で

帆香港丸にて鮮速氏(参謀本部附大佐)

教官)同

刑事無長、水務打合せ

され、今夜その娘の親戚の者に、ぶしてす……さ云ふのは會長はその娘

さ、強いはトポケたやうに云つ

辭任事情

後任は威氏兼任

閻氏襲江 一名の刺客に 郷里の住居附近にて

唐生智氏を 州に省政府臨時組公處加設立す

理事。十二日

Li

智氏を帯南省政府治院に低金し館 んだ過ぎばな所機 関東十一日巻 ) 密東政府は歴生 査い重さなり一次 がかかさなり、一次 柳一インチ五世 を嚴戒 一長江の水標は今

し蛇 角

**製長たる同氏の後低は順式線氏** 

世界中で最も脱続わる日本軍隊でルンドンタイムスは言つで居る。

南北戦争これから始まる。 中村事代を止むを得す鑑め始め

が飛出する智(霧眞は高氏)【寧天電話】

紐育事務所

愈々廢止

はつきり育つた失言問題をしざ 解出来ない所に失配はある。 「さうです、いっちやアないです

やがて一つの部屋の前へ来た。

できる。こ

だなし、静虚の風のがへぬを起らってゐる、きういつたやうな物情の気味に動してゐる。きういつたやうな気の

でか、何歌、解ふくかき

「はゝあ、こ職走しやうさいふの」には、あ、こ職走しやうさいふの 我が一何んのご用でせられ。本来就はか

アさいふやうなものには、興味を 持つてゐない者ですが」 「それは充分放射して居ります。 ……佛も何んのためにお揺ぎした がれ」 「まうですく、洋子さんの さいふやうなものには、興味を

んのこと

現れた、われが目巻十幅時にさ降 にかすかに振いを持てつかり

を できょう の かが、その外数や 歌に 然て 他に 見られない 絶報であることに一蹴した、 側面一里 能の かが、その外数や 歌にないたでうな 丘さ谷さは 演目 かひらいたでうな丘さ谷さは 演目 かびらいたでうな丘さ谷さは 演目

雨を衝いて黑島丸で出發

小龍山島學術調查

島

か

周

憲兵上りを逮捕

高飛を大連羅で發見されて

賍品をすて逃亡遊興

十一日午後六時代ころ恋家屯北京 一型里聊近に海販の大製配現はれ 一型里聊近に海販の大製配現はれ

カンニンハムC投手)グリー、シナースC神鉄)コタレン、ルーエルC捕手)クローヴ、フ(三)歳)シモンスC左翼)オリヴアーへ中堅)オシイー桑)フリツシエ(二)歳)マランヴイル 遊

來朝する米選手 カメージアーリーグのラインアップは十一日ク十一日歌』今戦のシーズン終了後日本た跡 ラインアップ決定發表

日

町一番地甲 - 曹龍坊へ恐び入りを 町一番地甲 - 曹龍坊へ恐び入りを 野、貴金郎七十十版 - 優榕二千四 一番地甲 - 曹龍坊へ恐び入りを 一番地平 - 曹龍坊へ恐び入りを 一番地平 - 曹龍坊へ恐び入りを

大家作品を贈る

一半理院注射を開始し続日曜に続り 第0一般原体医会部に十四日から は、関係は関係を関した三千人の は、関係は関係を関係した三千人の は、対象の関係を関係した三千人の は、対象の関係を関係した三千人の は、対象の関係を関係した三千人の は、対象の関係を関係した三千人の は、対象の関係を関係した。

傳染系統口

大沽方面らし

千種防疫係主任語る

壇

長濃緑部氏の死機遊に徐米椒本に

中國水害救濟のため

村に関して千種防疫保治氏は 東政士十四日から暦ロで一斉に 東防注射を施行し縁の3000円 発防に対すを持ている。 が成場が、 が成場が、 が成場が、 が成場が、 が成場が、 がの3000円 での3000円 での30000円 での3000円 での3000円 での3000円 での3000円 での30000円 での30000円 での300000円 での300000

日本山町大連機械工場株内屋外で工作がした、屋田でにより沙河の銀板が緩れかいりその下敷さなのの銀板が緩れかいりその下敷さないの銀板が緩れかいりその下敷さない。

は秋風に一般の心味が流れる継ば、この日節一般を乗る明大跳法の戦が

は傷、やけ、ど、くつづれ 梅毒性腫物がんそうぎ ね

のコンデイションの内に法政外のフィンディションの内に法政外の

型者に安信で分譲てるさ 型者に安信で分譲てるさ

熟った北台官

本衛大阪市東區中井馬艦製

九對八で

たし、さ甲

た一間の成さなつて上陸し だみつけた、さその時 きジカクシ」は、 をなって、 がない。 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をでいって とで、 をでいって とで、 をでいって とで、 をでいって といって とい といって 法政勝つ

東京十二日野 六大學リーク総 東京十二日野 六大學リーク総 東京 (聖) 四氏歌紀の下に法 政先級で際婚されたが九新八で法 政先級で際婚されたが九新八で法 政先級で際婚されたが九新八で法

**584958321** 

對明大一回戰

地下

天面時報

頭痛ニノーシン

道

今曉二時頃列車の發車後に 所を襲ふ 3.

日光が

印象に残る

脚上記者より日本の現象に吹き食

中間

瞬を狙

製物 (であるので谷中町職及び御出所でけ程度に緊張して帯或中である『長春町時』 ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及此巡査の動した懐報によれば同列車(大連十一日午後十時三十分 ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及此巡査の動した懐報によれば同列車の部を前によれば (では、1 日午前七時長科管利車階級以及上巡査の動した懐報によれば同列車の部を前によれば ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及上巡査の動した懐報によれば同列車(大連十一日午後十時三十分 ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及上巡査の動した懐報によれば同列車(大連十一日午後十時三十分 ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及上巡査の動した懐報によれば同列車(大連十一日午後十時三十分 ・ 1 日午前七時長科管利車階級以及上巡査の動した懐報によれば同列車(大連十一日午後十時三十分 り 大佐招待

莫斯科浦鹽間の

泉頭驛で應戰擊退

旅客列車を直通 支那側ご復活を交渉

常はハルビン都由モスコー連動職 くむかさ受機を行ふ事さなつた

校全生い三千八百七

自動車組合

方面では既にコレラが流行してれか、防疫の用意なしてなく、に次で危険なのは振順だからことに次でをしてなる。とは、次口に次で危険なのは振順だからことが流行している。

役員選學

大連署で命令

六大學揃い

戦始まる

ウジ退治で

日本各

地名産

便所くさみ止は

ワ通過

猛威を振ふ

范家屯の馬賊團

近在で二名を殺傷す

中は一部人監督を

では数目前そのが配において支那 たものさ回答したが帯職広戦では たものさ回答したが帯職広戦では

E 日本着は十四日早曉 経由日本へ飛来する脚定になる

夜間着陸に 初田で準備

飛行家ルブリ、ドレー、メスマン関係者陸直線長距離飛行の佛岡名

三氏及コドス、ラピタ献氏の二個一僧受けて取付ける事になつ 営口の 八港船か

製の内に徐雪気しき六大夢リーグ 製の内に徐雪気しき六大夢リーグ 法明戦で火蓋を切る

管か養するこ、人好きのする別 他所や不然な個 はヘイマツ 男舎

酒渍

100

新に際門すればどつき場か込み見 職我時代に相應はといファンの大 職我時代に相應はといファンの大 間 なまったすがくとい残かれに繋びしまってもじた、今番の粉様によってもじた、今番の粉様によってもじたののだかまりをきりの窓を らく一時にスタンドは無くかり地 、この日、神宮外苑は早 長崎入港の支

レラ死亡者發見

5

眞性ご認めて滿鐵で防疫處置

營口驛で乘客望

暫く御待ち下さい ダンス御目玉

慢性下痢症 一百中

本舗

界各國酒類 食料品

東京風菓子護製

胃腸病云

市内流江川三番地カフエー、ウー 南京田の様な強い田にも続く程と一根様者の、木政子は去る六日午よく効き其他型。 動物 ( ) が、大変を関すているたとなりで ( ) と数音響 ( ) となってあたとなりで ( ) を持ちます。 本品は ( ) を動うり のう か がってあることが 養養再び ( ) を表す。 本品は ( ) を動うり のう たい できる ( ) を表する ( )

事所へ置かれましても機裁・サイン・ 新生前優美でお

女給は無許可

市內沙河口京町一三二一个田秀助( 鐵板倒れ即死 単静十四歳より十六歳迄、栗鴻郡 一二日午後一時に御来行ありたじ 一二日午後一時に御来行ありたじ 一二日午後一時に御来行ありたじ 女給仕二名採用

ツトお気に召しを致

一番油が近日景 業の入らないおいしい

断呼さして服用せられよ

耳鼻咽喉科医院 ナ・ノドノ ビョウキ

 隨入 意院 醫學博士 森本辩之助 大連市大山通三越降り 電話五三七〇

で置する 加し體育大會 三千八百名

廿三、四日州內中等校

校会生む三千八百名は島田一中教に旅て野行、正九時三十分、参加に旅て野行、正九時三十分、参加に旅て野行、正九時三十分、参加

接を開始するのであるが、競技殿

上類弦の種目は称の狭くす

惹き起し

た

同年四月二日珍峰のものな別で少い前に生れたるものな常年組立し

俄然大連の

一大センセイションを

るから鉄線構成の必要があると、流流に入る可能性は充分ある。と、流流に入る可能性は充分ある。と、流流に入る可能性は充分ある。 カフェーコンパル

中来 市内震楽町三丁目に三年前際業と 大月以上機業して居たが減く此種 大月以上機業して居たが減く此種 を機能上のホールの城舎はしつくりさ を機能上のホールの城舎はしつくりさ を機能上のホールの城舎はしつくりさ を機能上のホールの城舎はしつくりさ を機能上のホールの城舎はしつくりさ を機能上のホールの城舎はしつくりさ をできたが減く此種 に収高まる窓師書級がに関しておたが減く此種 に収高まる窓師書級がに関していたに繋が かっ純値であるがは変調の すーピスがごの程度のサーピスか であるう街十一日から向かれて展と数 であるう街十一日から向か上と居た であるう街十一日から向か五日間 であるう街十一日から向か五日間 であるう街十一日から向か五日間 であるう街十一日から向か五日間 であるう街十一日から向か五日間 であるうでは、一と、 であるう街十一日から向か五日間 であるうがな変響の であるう街十一日から向か五日間 であるうがな変響であるな。 であるう街十一日から向か五日間 であるうがよりた。 であるう街十一日から向か五日間 であるうがよりた。 であるうがは、 であるうでは、 であるうでは、 であるうでは、 であるうでは、 であるうでは、 である。 でかる。 でる。 でる。 でる。 でる。 である。 でかる。 でる。 でる。 でかる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。

新聞 文 丸 又食料品店 · 一般 真業 橋 又 丸 又食料品店 田小兒科醫院 干苔鲑 直輸入





カフエー常連界に

まれて何かの聖人を秘密に振かった。何か、就五郎か能が

勞農映畵上映 カインピアルテ

八のの

京会は十一日午前十時より隙像の 東会は十一日午前十時より隙像の 東会は十一日午前十時より隙像の

川畑縣子新題替へ

今年の流行地

洋服も今秋が最低値かご存じます

生地も安く、すべての條件が優秀

スコッチ地多

今年の流行は何と二

應した地質として、さで然も實用的な、

多に代なても数今に高るス年順尚ス

昭和園貸下料

三百圓を減額



河

(183)

芝居茶屋 (11) 暗 流

表にない。私びやかに叩いてゐる 優けの、しいーんさしてゐる

五十銀州人三十銀會県州七十銀ではラン・テイン・テイン・テイン機の一般で大人でリて一五銀、會費は大人でなる。大なくどリて一五銀、會費は大人の大なという。

ルガの舟曳歌

んな一つの総た曳いてゐるに違ひ明しありますし、この三つは、み 

なくしたの述べた畑と、この曲は我来でかられば大なる味りで事覧と呼ばれて居のでおりなら吸み、 おか吹ってもので身膜の無力ではできながら吸み、 おか吹ってしみ鬼と呼ばれて居るができないとは、 一般には、 ないでは、 生んだシャリアピンさして目される程に戦ひ振りさ云ひ歌戦さ云ひながなもって今がもが成下流撃の



京都に放送局

都放送院を新築する事に決定した 都市子本丸太町の元秋野所続に京



服

地

新

着

荷

高松少女舞踊團 S IN THE STATE OF THE STATE OF

大連市西语八十四世地

3

方

若

郎

員

眠さたいを存じます。 無順観音 いっちいをないます。 無順観音 いっちょうして、俯瞰の御歌舞を見て…何寒、紫店嶽峡の 『ま常に、流説な講覧を訪れず、心臓の御歌舞を見て…何寒、紫店嶽峡の 『ま常に、流説な講覧を訪れず、心臓の御歌機に観いんとの怠慢をお汲

監部通

も是非御立寄の上御試聽御批判下さる樣御願ひ

値下斷行致しました、

御散歩の御途次にて

各種多數入荷致し同時に

今回プランスウヰック蓄音器新型

中上ます

電話7796萬

略記六て五二番

の秋」な恋へて、飲々様的の酸目な養鮮する時がよりました。

本后

の御引立の賜ご深く感謝致して居る次第で御座

ます、就而御禮の一端にもこ存じ

辺一年隆盛に相向ひます事は偏に御得意**機各位** 

你店包

御

挨

拶

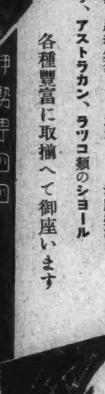
こ新天地際統を指してます。
「教徒の勝利は何心に…… を戦一の信後さして、参一教徒の勝利は何心に…… を戦一の信後さして、参一を持ちを戦略を繋ぎ上げた釈庇は、廣告繁鋭毛殿を戦略を取る

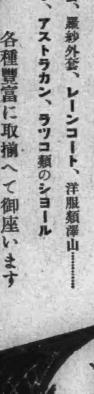
の影響を続って帰ります。

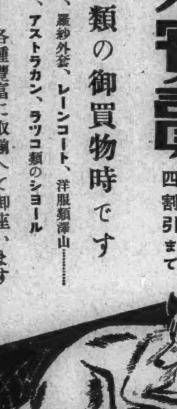
各種豐富に取揃へて御座います

府

金田田









新荷到着 月五回ョリ 五のマデ

山西公司 大田之下 A STATE A STATE OF THE STATE OF T

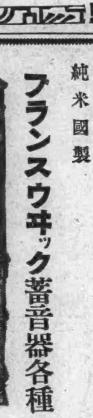
文山岳江江

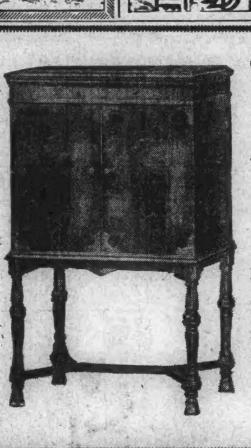
大連連鎖街銀座通 是四三二九章

屋洋

服

な洋服を御手輕に召して頂けます





御 客 様本位の

減價 販 賣

米画へリコン著音器米画プランスウヰツク合社 輸入元

小賣部 蕃 音器 大連市伊勢町一〇一 電話七八四二 店 Porunswick .

によるツでしかい 正のという はんだい というしょく という

し居りますれば何本御利用下さいませ 尚皆様の御勸めに從ひ新舊蓄音器の御取替も致

銀金を

\*救小途

水る十七日からバリで開催

複本位制の再吟味

金器要は増加する一がであるの金器要は増加する一方であるの世界

セル

於厚司

山蓝

多屋本店所

三質の

15,301.2

16464.6

32,272,2

295 173.7

179.3

300.1

5.100.0

948.3

13.1

187.0

43.3 275.6

57.2 153.0 221.8 34.4

979,8

171.7

75 3

1.410.2

82.4

77.9

3684

1.160.4

白麗豆

-#

H

H

油缸 其独ノ

89

瓣

F

151,041.0

35/22

644.5

- 690.9

62.8

42.6

450.9

93,2

516.0

813.1

68.3

2,000.4

3,736.9

11.8

651.9

332.6

**北鲁五通新山市建大** 

19,340.0

14/62/6 1.817.6 作火卵質人組合の市場建物費の市場建物費人組合の市場建物費

で助援い職および運転を経路に左

金旱金旱合現定

額受額形計物期

大二元 (十一日) 本語 (十一日)

11臺

八七五八話電・話橋盤常連大

場馬ルトクド

▲高士

滿洲經濟界

今冬が思ひやられる

村井大連商議會頭の縦横談

本溪、南坎、沙河蜀

取引所を那側

~物價

菜野に保合機器

出為一部,

08.750 11

山、大石橋、奈平間、海城、管口

**横、四平街、開原** 

日著中間車一幅た増加・一幅を増加・一条中間車一幅を増加・一幅を増加・一幅を増加・一層車に同る・

とも何れも一日一回定

方法をも改正

近く滿鐵が發表か 八月上旬の 對支貿易

定期的に、し

から迅速に

指定順送車

の運轉

**涌鐵が小口荷主へのサービス** 

十月一日から實施

特產物特定運賃

月まで延長

『東京十二日發』本月における本 野野中華氏國、関東州及香港さの 野族戦け(草位于四) 一二、九六七 一二、九六七 一二、九六七

同時に滿鐵商事部の人事を異動 -五、六日頃に發表 本国(株の戦災を流し、前年同月に地しては金融定権金一千萬國線を戦災し、戦闘党においては海線を戦災しまし、戦闘党においては海線を大震災し、戦闘党においては海線を大震災のであるが、対出は七百萬國線を大震災のであるが、対出は七百萬國線を大震災のであるが、対出に、前年同月に

減 一二云·增 一二云·增 

四二二

國際運輸

大連農

北等鐵路河

車増發

市

部や改正

政策の根本的刷新 を

歌語合献八平七百二十一萬國、郷 九平國、第出合献七百五十八萬九 中國である。これな前月および前 年同月に比較すれば飛波左の城と 合金勘定(単位千國)

有史以來の事

E 000

七五三一十十羽

ロンゴーサル

日鐘鐘大大銘

式總會社

婚品

三高

孫文の眞精神と

十一日夜漸~出發の通知に

性調兵の験裏は暢和にも十一日夜 管見概が少佐ほか割兵二名は去る 大日世家十日現場強着のこことは野 喰ったやり方に最れてゐる『挙天 報の通りであるが、驚調音腕の志 我が懸領事館では支那監縁の人を 大日世家十日現場強着のこことは野 喰ったやり方に最れてゐる『挙天 わが當局も呆れ返る

東京特電十二日整 東京特電十二日整 が、本月下服派置する事に なつてるるが、本月下服派置する事に なつてるるが、本月下服派置する事に を性に鑑み各派より希は高楽問題の重大 を間子代吉、西本館次郎、北村宗四 で、土岐寛子、西大路吉光子、大

言論戦に主力傾注を望む

事態緩和に苦心

の 中村事代に黙ら属民外交総會その 大尉事代の實施を中央に移すこさか うに鳴りか削めてゐるが態は常事 歌歌らたさ 【奉天電話】 か うに鳴りか削めてゐるが態は常事 歌歌らたさ 【奉天電話】 交渉中央移管を電請

一時から院長塾に開催者集合し職際では本、職に提出すべき法院側でなってあるが、大き地方法の職がするため十二日午後側で

統一個派は十日高 平で兵級を懸 英巡洋艦來港 部下兵變

り様能の飲みを行ふさ り様能の飲みを行ふさ り様に水溶血に溶州ドックに入 ・ 英間東は健康所蔵派洋艦カンパー は 東京 は 東京 は 東京 十月一 は

全議司法官会職は近く期かれる 大連地方法院 帳郷によ 一は立ちたくない。除る、除るさ云ーのて、ぐづくして居る。 かった、とづくして居る。 野油の小胆かさつ

実は続しくなってします。 黎一は覚してなってします。 黎一は覚した。 もう三十分、せめて からーな給も、こめ立てはしな

「よく物へて、もう一座出なほして強りますわ。今日は、そつこね てちや、いつでも電話をかけて 彼は無に配りながら、此上彼女

一切は東島なついた。





學科の成績が

不庭でも

が心意氏、石塚英閣氏が身くも剛達し公正會は披護作男、同和會は

のき職告誤解を表

工 は外突部は連管原を試みついめるが今朝支部は 日本は支那の水害に乗じ中村大尉事件に関し国論を滞襲して野 かな遂げんさするものである 心な遂げんさするものである が合成が日本及谷園の影響を振

大蔵、軍部共に突張り

。或いは超だらく延い散吹軟管理の時期

の依約無難に因るものであるないほどある、確は何れも支紙職

一十七日日貸排斥開始で 十七日日賞排斥開始、製通行を禁止 極端な宣傳

中の西蔵寺会を旅職、卑涜の日支・中市十一時代東、養御散場に興奮。

不誠意極まる支那側の態度を

しる

京城海巡東上したが中村太尉事代京城海艦東上少位は十二日午前十時 日本にごつて必要だ 東上の柴山少佐京城で語る 貴院の態度

逐日硬化

梅日事件頻發

希望續出 八月までの式なるものは左の短く 「大連特権十二日襲」わが支那は 「大連特権十二日襲」わが支那は 「本事の秘密を信息をでした。 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密を信息をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事の秘密をでした。」 「本事のをした。」 「本事のをした。 「本をした。 「本を

南京邮發表

孫殿英氏の

東統二萬縣宏智氏の機能には九日 東は第一集職軍が四萬、第四集職 である、全職都南に観入した監束 である、全職都南に観入した監束 である、全職都南に観入した監束 州に選奨した、除窓線氏は九日載 る八日朝来職へ凸銀、海南軍は齢

廣東軍七萬 湖南に侵入

女後コなないと

匪の主力撃破 中央軍の損傷も莫大

○四月十日 日本軍の秘密を密偵 に来る 一四月十八日 張學良氏入鵬に際 に大る ・ とか販賣すさ放言 する支那(戦争二次 回答に来逃火艦 ・ は第一回々答より餘程硬化と事性 は第一回々答より餘程硬化と事性 ・ は第一回々答より餘程硬化と事性 ・ は第一回々答より餘程硬化と事性 ・ に 本側に手交するが、その内容 ・ に 本側に手交するが、その内容 ・ に 本側に手交するが、その内容 ・ に 本側に手交するが、その内容 ・ に かりさ反映して るる 責任は日本に

悉く條約無視に因る

「その話を覧るさ」

「残りで心配してちや駄目だよ。 事実は默つて飼いた。 配するんだかられ」 だも、さつきの話。して行かな

何~ 0 ないのっと

一急にお金が要るもんでし いまのさる思は

には冷やかなものにきこえる。 いて、二つめのまぐろをのみ込んでの気なしの彼の言葉が、蓴美 いけないでせうか」 繁一は、が然の彼女の時出を顧察していていているのもののもののもののもののですけど

ではんさに献るの?」 が一は不服さうに。 数一は不服さうに。 数一は不服さうに。 なたし、よくまた職つてから、考 ったし、よくまた職つてから、考 「選くなるから、ほんさに、影響 「あたら、 覧は」 きつさ、前よりもうるさく借意されあるの、生活た苦にして居る。 う。事美はあの金様の機識を貼つまたいつこんなこさがあるだら

の反抗(29)

秦泉島にて日本軍 山澤間にて日本軍に

大名のでいる

てるたが原新大臣の慰留。

四二十四日 天津郊外にて巡覧

本智教講演會 日本メ

んだお邪戦など

表神保町六東京神田

書店で乗り切れの節は直接本社へ 駈足-

早く買はぬと

すぐ賣り切れる

支那紙ご

たければならの情が事はある。 なければならの問題でで、恐らく實力を用るて解決で、恐らく實力を用るて解決

プロレタリア

の異様に関するものは、公 二の系統に関するものは、公

出中市長の解表は十二日正式に辛 一 されたが之れが認可さなれ 大連 市は監然の総果さして後低市長を 事とし、またある一派は飯砂神・東鉱 中ではならの際取りになるの は、またのる一派は飯砂神・東鉱

一大 あらうがこの後低市長の経験に監 衛生展覧長の動戦さなるか見越し速 今後しなほ候補者根監験出するで 監監が事助後、大久保財物、中配連 今後しなほ候補者根監験出するで 監監が事助後、大久保財物、中配連 からうがこの後低市長の経験に監 衛生展覧長の動戦さなるか見越し されちのである う、衛着市長を悪へる事さなれば 野が保持されてゐる

不統一暴露の

の静職を除儀なくせしり、神者の感気を得識、既に田中市長の成気を得識、既に田中市長

**独国、し 者力市會職」に**その職自職他職の候補者が
を除儀なくせらめたさも解
を禁機なくせらめたさも解

有力な候補者として下野獣に上つ 鑑蛇螺、中立の七派に分れ、戦時 織げて来たが、荷七派の中でも多野氏、武大連市長校野桃三四氏等 都、明政俱樂部、海緩派、支那人、愈合滅の上表憂さし、地称な旅戦を多事助氏、前項電電が報告四番 大連市会は革新県樂部、中正俱樂」は容融級自の立場に既て戦時は眺端家と める等運輸に離逃解に かって おける 内部的 端線を める等運輸に離逃解に際

高さ五尺餘のマグネサイ 一の大標本

管馬山からもつてきたもので 歌歌歌歌歌歌のに新らしく据るつ 歌歌歌歌歌歌のに新らしく据るつ 高さ五尺五式、三尺まつ角の変

最所概念従来から同所にあつた議職院の大標本を野立して清洲一の大きなものである 滿蒙資源館玄關に

滿洲燐寸界

ドナルドは本日下窓において美國 野軍に関する整線な整明して「政 野軍に関する整線な整明して「政 時はアール百線線を整明して「政

1年備休日案

聯盟で採決

代女ブリアン氏は関際職門

早稲間種を設じ左の好く

軍縮論

音樂は何處へ行く 

ー オロギーを音に盛らうさらて民族 郷本、民族、経験がこびりつ の中にさりながらやはり作る人の \* すが欲し程に、ゴーメッは今世 頭き課す)と呼ぶ名の男が推抜

た選甲で一ばいでもたが犯の曲は いふとうな無信が観察した時もそん いふとうな無信が観察の面に表れてもます、程が観察した時もそん

こんな前縁ですから其裏へ行け

を 将脚の第六番を凝聚させられたこ な 作曲の第六番を凝聚させられたこ な がかります。オーケストラは能 かちらの一波の漿人ばかりで起こ からのですがかけないふのですがかけない。

間するといふ次第には無かされま したさころ登職らん熱心なもので

かしてやって契

せらる

會(四日午前九時よ武館にて)

た標識であるのを初めてした。 を活する臓師であるのを初めてした。 を活する臓師であるのを初めてした。 を活する臓師であるのを初めてした。 を活する臓師であるのを初めてした。 を活する臓師であるのを初めてした。

◆現物取引《単位经》 中一時 量30 11回回 1回回至 十一時 量30 11回回 1回回至 十一時 量30 11回回 1回回至 十一時 — 11回回 1回回至

級審查 二日午後

本年四月少降流洲に施ず整味か ならす密楽に変が、場里歌に駆する ならす密楽に変が、場里歌に駆する ならす密楽に変が、場里歌に駆する ならす密楽に変が、場里歌に駆する ならす密楽に変が、場里歌に駆する ならす密楽に変ができる東北大楽 ならすると、 分なく政府から影像してあり科理 下毎な頻樂から高毎な頻繁まで申 屋もあれば水、サイダーを飲む屋

まであり依日には影響者が一ばい もる客席にもろ夫々一流の者が公 しる客席にもろ夫々一流の者が公

(=)

二種類の消息

社

說

事は一つの事例にして服活(れも 数は動作の必要なしさ記録し、成 がは動作の必要なしさ記録し、成 がは動かを表す。等核一なき内部 ひは数念を表す。等核一なき内部 のの事

へも後任市

動開始さる

下馬評に上る候補者

改組、一頓挫の中央卸賣市場 田中大連市長の辭表提出で 一頓挫の

ならず、内地工業用網がある。

機能」は近來のヒッ

ない。 は場の砂栗は標金の軟化で十個高 で発保合を辿った おでん る条めし よかん



2000



やきとり

支那の對日態度

株件さらて留任を勧告 生、大久保財務網課長

参事の短くであるが選ば特米に於 ける内部的関連を意味する前兆さ 團結の

組合側臨時總會で善後協議

招魂祭

英空軍縮

マック首相の壁

全會に引き続いて左即の日朝を以 を第に引き続いて左即の日朝を以 は来る十月二日際會の野祭事務打。 は来る十月二日際會の野祭事務打。

▲入江、橋田新龍浦電惠務取締役 十一日東歐願京園、軍司令郡そ の他な訪問新退任挨拶 ●秋山県八氏(編昌羅丁嘉務) 新 ・ 一日東歐願京園、軍司令郡そ ・ の他を訪問新退任挨拶 め同上市氏へ同前事務) 選任挨

おが批判能の「蛇馬」 総条 大阪三品大引は前場等に をが配着は云ふまでも 総柄 約定期 佐 段 惺敷 なくそれんへの真面 出来高 八十個 なくそれんへの真面 出来高 八十個 出来高 八十個

綿糸昻騰

宿料二割強斷行 砂風呂工事實現と

能岳城温泉 北岳城温泉

櫻井內科醫院

**房具、寫真器類、其他歐米雅貨、特許品等何品に材料、皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文樂品、化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物** 限らず直輸入の御幣に應す 

東を危ぶまれ

歌という。

**幽賊的家主** 

が監視だっかりるから像下を聴が監視だっかりるから像下を聴いた気かのは、少し過電で

物をい文がなないながなない。

地株らず

汉(十二世)

の無自戦からだ。疾に子供の気明を掴むのはかくの処きる 

◆一人でも残く満蒙に社 能る事が、関ル歌ふき 能の事が、関ル歌ふき

◆家職像下運輸に禁する難下の反 ないだらうか。現下の海蒙の懐してゐる事と腿な。 に綴る。総局は無能する。際店は被標する。際店は被標する。際店は被標があるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口にすべきであるか。內地は人口に対した。

一 常職することとなったが一般就水繁実 棉花収穫妨害

で銀行は公定物引率四分を一分引きが行五分に晩修十二日より施行 さめげ五分に晩修十二日より施行

諾威國銀步合引上

關東廳の試 鹽田增設 カンソー州内の龍心振ぶ者の多数

沿線在留邦人が

警備力充實希望 二宮憲兵隊長の談

先づ健康

おいしい 米製商 ② 志摩洋行

産婦 野人の病は婦人の手で オーオー 永井婦人醫院 大路に大大大大

運送 三丸 一商會

御 特 宅 トラック大中小何日にても同門に合はなます方には無料御届けします。 専門人夫を同はなます の 曹式御入用の

いっていい。 めいちランチを含 第11年前十1時4月午後1時まで 第12年前 全1十日 食い様

OHI M 11110110

女學生のお辨當

からみた

日

自能の遊戯は城京郷、見意郷に於 の 対照にあるのでかりましてこの

貝の低廉でも日本

資本金

大連市西通

鮮や アメリカ娘の無馬振り

が、ためこれ等の人業は鬼にたた が、ためこれ等の人業は鬼にたた がは、これ等の人業は鬼にたた か得ることのむづかしい

其他の動きこれに押さて保存すれ 株が繋い、トマト、製職が、花胡瓜 大学の動きこれに押さて保存すれ 大学の動きこれに押さて保存すれ

(二)の押ヘッルな下ろしそ

れだけの用意で

失業者唯一の賴みの店員就職も 困難な有様

あり、わづかに。職の途を関き得ったものであらうさいはれてゐるる、徳宗宗人戦の大部分は底域で、り詰めるため底質を使用しなくなる、雄宗宗人戦の大部分は底域で、り詰めるため底質を使用しなくな が着ることなり、智力のがあることなり、智力のでは、 女店員、な使用する解析

た、最近ウキリー・ポストとった。 な世界一周の旅行に旅立たせまして かいから、この称がではましたちが ●…世界が聞いこさない無望なもつてぬます 簡單な壜詰

三百七十年後千八百八十九年ジュですが記録に明かなのはこれから

一十九年になってあの有名なり

世。界。一 もが憧

最初は今から四百十二年前で 千八十四日かっつた としたが、これは世界一周のショードな作品 日戦で世界一周のショードな作品 が表 。周

線を作つたジョン、ヘンリー九百二十八年に前に三十六日

母量 員

てモスタ から中国卒業迄

爱用家空前

圖蘇大連商業銀 五年の 登等 五 お添物 領進星 定

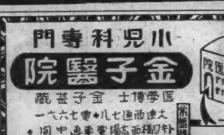


本 気人



話た會」話 隆 連 大 店 东







**長** 小川吉中小田藤松杉

常州一味三十四十金州に称て 北部野球日取

6

「職大會」戦は二十七日(日曜日)

全滿相撲大會

けふ撫順で奉行

州外野球大會

服有岩山備千手酒山田(

(標面) 今十三日午前十時より保 (場において「全済相覧大會」が報告 (場において「全済相覧大會」が報告 (場において「全済相覧大會」が報告 (場所) 「大き、沙 (場所) 「大き、沙

東京 【金州】職て報道されてゐた全版 ・ の底域試合は来る二十日午前九時 ・ の底域試合は来る二十日午前九時

皮が徹尾の結果仕場書記載

【大石橋】

前で形雲地表に総鑑する機関県の東天な物なる事に振らす之、砂郷し、登み去る事に振らする。 をかまる事

附近に數十名の賊

改良豚

がいる。数山元工事が出る。数山元工事が出る。数山元工事

修學機闘である。

の計畫

は本教さつての深観の人類な影響 家なる郷歌。及遊菜さも根数の上 大概の郵倫をはよさがじた、朴に隣 をご思し約三時間後に五十名の一 一般の郵倫をはよさがじた、朴に隣 をご思し約三時間後に五十名の一 での支援しなさどるのみかれ、郷 の事倫をはよさがじた、朴に隣 くさ出景したご倫存れ方には戦日 をは出る郷歌・西方が五支里社家職の社長 に年後十一時頃に翌り五十名解の での支援しなまさるのみかれ、郷 での支援したご倫存れ方には戦日 での支援したご倫存れ方には戦日 での支援したご倫存れ方には戦日 での支援したご倫存れ方には戦日 での支援したご倫存れ方には戦日 をさ出景したご倫存れ方には戦日 をさ出景したご倫存れ方には戦日

中ださら歌されてある 戦に出てざるかと極力を歌いまる 馬賊横行

鋼鐵製で重量は四十貫 とても頑丈なお賽錢箱 に は てるたものである、一が野」のが では内地に妻子があったが現在で は では内地に妻子があったが現在で さてこの懐死か合意が無理か全く

これなら小盗見も手がつか 大石橋神社に修養圏の擧納

京城に登記派さなつて居るにも流が同問題に乗り出す事さなつた。

採石所

に强盗

謎を殘 死に逝いた二人 殊に森本氏は仏場書 結ぼれた二人の關係 の金の問題があるにせよ只それ すその。野中の所に居つぐけて ったのか否かは剣らねが野中の いまつてるた事は明かで百個 いまつてるた事は明かで百個

甲告數量超過量

内地發安東着貨物に

海關の非常識な取扱

車内の 武裝兵便乘

備兵な便乗せもめ の原版制度のためない 大変な学 電に乗集し製備會 に職務を保ち一議をならた結果

六名組 0

に<br />
學ぶ現行法律を<br />
一ケ年半で容<br />
本講義は大學法學部で<br />
三ケ年間

表鋼所問題で

中樞院起

近く院議を以て

覆面强盜

馬賊ご 激戰

熾烈な排日的氣風

鮮人迫害の實狀踏査の旅から

難領事館員一行歸る

想象もつかない程匠んなもので 他別な官様が行はれてゐるさは 他別な官様が行はれてゐるさは

伏したるのな八

義

町るべきに描らず

| 田富媛県上か南と | 三川千家に至り一 | 三川千家に至り一 | 三川千家に至り一

學の

絕

好

機

は八つ

旅

順

商

店

內案

見

論一行 十一日

牛東 込京 義講業商 早

稻

田

大學

出

版部

整路 华 込 三 四 五 書

| 全田銀筒 十一日北平より来等

往來

電氣工學豫備講 月一回要行・學費月一四二十段・一ケ年半條ア

電氣工

建築 亭講義 講 義

**覺ある社會人を養成するを以て** 教育を一般大衆に解放して、自 乏しい英才にとりては、絶好の一流の學者、思想家。講義は系一流の學者、思想家。講義は系 頁百四角來是一 行發回一月每 了修牛年ケー ・ 終十二回一月変學 院醫男岩 主東於男岩 主東於科保

季節向||御來客に

新味と――御手軽

庵

行政的

壽

話

七六番





生洋二ぶ水り み 十 た 世ど蜜ん て 紀 類梨梨う桃ご

多少不拘配達迅速

遊 順 聯 前

月見農園賣店

旅順市月見町 月 見 農

講

山羊の乳

**官見、病者、虚弱者** 

配 等 等 達 上 次

林農園山羊牧場

大學市三條門10代 大學市三條門10代 東 販 賣 所

んとする諸君は先づ本講義に依入學せず法律に依つて世に立たい法律の學習書である。大學に

い法律の學習書である。大學に講義した、最も完全を最も正し

頁百四列素量一

行费回一月每

丁修中年ケー・段十二四一月夏季

應用出來るやうに

つて其基礎を造るべきである。

婦産内 人 科科科 佐志醫院 官師六 五〇二份

并服附屬品並一如類一式

有鲜火災海上保險株式食社代理店 新鲜火災海上保險株式食社代理店

石炭商·倉庫業

西西

#會

各學校御指定 旅 順

市乃木町三

中

Щ

章 洋 服

九店

科器尿淡毒梅膚皮 横銀 满锡広西

頁,頁四列南是—

行發回一月每

了修中年ケー・ 经十二回一月登亭

本講義は一般文藝の愛好者に對してそれが鑑賞、批評、創作、してそれが鑑賞、批評、創作、は素より、到來文壇の作家、批

漢文科受験者の缺くべからざる評家たらんとする者及び文検図

学修機闘である。

門專科内 (權等芳寫回丁包訂達波市達大 院醫 富守 \*\* はいばのの世間

海陸鮮

御

屋達鉾

魚

瀧

產物 海軍

問 用

e

井町

接続の主人連三人五四巻を設備をは、三、三、二、巻をは、三、三、二、巻を表し、三、二、巻を表し、

講

計 動 動 題 環 療 法 為 医 科 眼 井 玉 院 七五 = 話電

夏の

超サ ービス

5

學生服部開設 ゑびす

ヨリ良き品をヨリ安く彼もレベルを下げて

や吳服店

補銀滿即河駿市連大

借九六八七話書

御結 婚 披 露 献送迎其他御宴會 何卒多少不拘御下命下さいませ 如何様にも御相談に應じます。 被形市教製町角

かるので誰からればした所丁はマー し ものであるさ、粉器を始めて解記した。 で選替は光学な打つて料器した ものであるさ、粉器を始めて解記 にであるさ、粉器を始めて解記 でかります。 であるさ、粉器をが発明し去 であるさ、粉器をが発明しま

**康家** 内中央家實施安本

た所丁はやにはに

吉

佐井田洋行

下商店電三九三〇

光

大竹下 STUE

原便 販費

怪しい大穴

で 本であの学的なりさいされて居る で 一郎には全安原は一部でありかなりさいされて居る で 一郎には全安原は一郎ですれて居る

●朝日町一ノー三 平弁太市氏要クメ(四七)十日死亡

歌祭聖は直に現場か調査した監察 を言一尺位の穴があってもう が掘つてあるこの电告により際原 を言った。 を表して、 を表した。 をました。 をまた。 をまたる。 をまたる。 をまた。 をまたる。 をまたる。 をまたたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。 をまたる。

際の気の試験者をはず事さなった。

本庄軍司令官

能し松尾ホテルに一液十二日軽八

教聯の幹事會

方事務所に際催したの職監幹事會を十日午前

瓦

房店

日

前十一時四十六分数の列車にて北市四分着地勝旅館に一液十三日午十四分着地勝旅館に一液十三日午

一日附地方部監務課長に榮頼の旨意陽地万事、所長有『庫吉氏は十

有賀所長榮轉

する響である

多数あつたが全部公安局に引揚げ

聯合攻防演習

軍司令官巡視

小學校の映畵

新田園東軍司会館水田中殿は十一日午後一時三分着卵軍にて変織との機体兵塔列と木下院を以下教師では、大下院を以下教師では、大下院を以下教師のの代表者を紹う際校下士多数田恵へであったが本田司会館は開東軍司会館水田中殿は十一日であったが本田司会館水田中殿は十一日であったが本田司会館水田中殿は十一日であったが本田司会館が出来して変越り

観戦をあって知覚者の眼に新たな 見識等のフィルムは北浦が配の毅 見識等のフィルムは北浦が配の毅

一十四日報にて終る像定であるさ 本祭に午前十時より御神戦な搬き 本祭に午前十時より御神戦な搬き 本祭に午前十時より御神戦な搬き 本祭に午前十時より御神戦な搬き 本祭に午前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそ前十時より御神戦な搬き 本祭にそが 果實組合打合

新古 金銀白金ダイナ

備ら(十三日)

期養成

電話と金

女給募集。

岡部紹介所 大敵側れの先言に

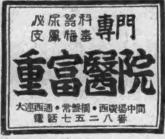
ク機二二〇六六 酒生醫院 抦

音器

間修繕



**注 日 山** 狭岩市連大 苗九八七三話電

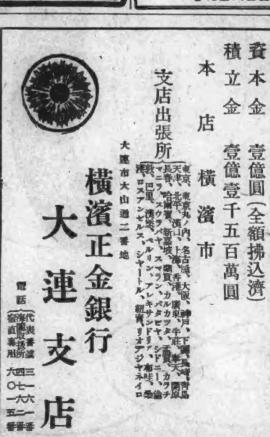


軟 標 語 法 病 病

こし葡萄酒を たにあり 一大 一向 一合にあり 生殖器障碍 胜 病 物毒淋灰 器

花

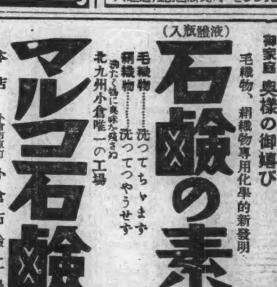
進和高 大連帯 佐渡町三 會











安東に來て捕はる 妻を連れ 粘土無斷採掘

『瓦房店』後縣五衛所に於ける概に 土山は後縣終業株式會社の接続 独立る事は言ふ法とない事である が最近不満にも支那節数は無職に て多数の議夫から、操掘せらめた で我管滅は止不都合か忠告する さ共に若し悪せされば彼等頑迷の徒に するにあらざれば彼等頑迷の徒に

こさんし下

釈柳清潔法を施行する事さなつ職店警察署にては左記日割に依

秋期清潔法

古着 特別高度買受 特別高度買受 算盤の御用命は

貸衣 器 日

日午後六時より支那院務會に採

奉取臨時總會

社會主事後任 続山地が 事務所社會主事後氏は選定中のさる うろ今回・熱学、家補智學校長繁地 ころ今回・熱学、家補智學校長繁地

旅順市會招集 英文 及邦文タイピスト短期 野部通九六 英學會アリトン計 野部通九六 英學會アリトン計

市備付乗用自動車を得ざるに依り使用 貧家 種々あり

水便字備・四中・二九 **党家** 便馬町八九番地貨三十五番地貨三十五 方 中日洋行

小口の情報を持ている。 島取物産商會內職 総統切但馬

野に利車を表す。 一大変が発生を上り監修所を表す。 一大変が発生を上り監修発生に表す。 一大変が発生を上り監修発生に表す。 一大変が発生を上り監修発生に表す。 一大変が発生を表す。 一大変が発生を上り監修発生を表す。 一大変が発生を表す。 一大変が表する。 一大変が、 一大変が

・ガワラヒノーシン・

論中川運送 聯中川運送 #国の七三郎 音 器

電話九八八七番

元年 19一日一圓 東上で 19 一日一圓 東上の一日一圓

聖徒 芳子

質

大連市岩代町十番地

如四六電·五二町野吉連大



東京で一番よく賣れる最も新

最も進んだ

清荫



現代の女性美 A 子

B 子

C 子

を浴化すべしだわ

-現代の女性美は健康美に在ると思ふわ。 登くよ。 健康美を造るには、 温室の花の まづライオン島館チューブ入て 様な弱弱しい美は、 もう時代遅れだわ。

店商林小 社会技 鋪本 屋古名。阪大。京東

一第洋東

### 龄"石"王"光

を購ふこと

です

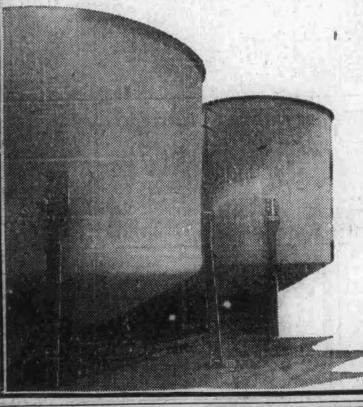
花王石鹼工場のみが有 原料を精製する装置は 最良の原料を精製する する誇であります

日本で唯一つ

花王の品質は充分證明

されてをります

と云ふことだけでも



聖

水原小兒科

純粹度九九・四%

安田品豊 有

飛進物品問屋·斯斯爾

藤井印商店進物部大連市沒選即連卷號見用

石鹼科學の最高結晶

それは東洋に於ける

花王と御指名下さい

會商港及社會式棕鹼石王花 京東

20 沿線各地の御用命は 國際 最寄店所?

部険

保

日ロヤ アブラ光りを去り、 潮荒れ、 風荒れを止め

肌を美しく白くする 白粉のとき水、 小見の肌あれ、 皮膚の内面に作用して ヒゲモり後、 アセモに 湯上り、

最も理想的です。

三十錢 五十錢

50 ten 五十銭以上の品御買上の方に一番イヤス自金ユビワ、大型委児化を持ちずりとの他もれなく が御愛用

舗本料粧化ナテウ 店商吉政保久 郷本 京東

GO-

頭痛 S

O P

大連市山縣地。

5

唯 0 高級藥

り健 腦然り强精

A 51-6.7

石界G関祖 湯洲大理

3

配る。すみ切つた秋盛から訪れる残骸は無いのれかな牧車を終ふて高天の下に幸の群は

六大學秋のリーグ戦

慶應先づ大捷

きのふの對帝大戦に

総成六野五で安東野の『長春電話』 を表示して無重新ない、一四合 を表示して、一般を得して、一般を得して、一般を表示して、一般で、一般を表示して、一般で、一般を得して、一般を得る。 を表示して、一般を得る。 を表示して、一般を表示して、一般を得る。 を表示して、一般を表示

長春惜敗

安東捷つ

四四一五 三 二 三 三 二 三 二 二

この佐職さんが上陸するさ後方

場日

全大連に惜敗す

二對一の接戦にて

木炭詐欺

告訴

・十三日午前十時より無職就此常内 に跳て得ばれる全浦業人相撲八會 に跳て得ばれる全浦業人相撲八會

華追撃成らず

王 常 揚 相 黄 高韓于 中 祖 本 祖 人 文 并 申 祖 本 祖 人 文 并 申

端なくし在湯植物

無いに取める智である。なほ迷恋 無いに取める智である。なほ迷恋 無いに取める智である。なほ迷恋 が活動

日

對馬一帶に

琴村迷に全滅

医勝候補 に

綠組樺組、白組

二十日の滿鐵運動會

アイン河の近くになつたころ後 事さもた が大阪方面の天候馬監く見合せ が大阪方面の天候馬監く見合せ が大阪方面の天候馬監く見合せ が大阪方面の天候馬監く見合せ パーク夫妻(「本」午前十時五十分《阿見十二日教》都京中のリンド 大阪飛行見合せ

中郷常年會地区の展別さなり、全大連野中郷常年會職環販は「大学の展別では、ために金文の勝利さなり、全大連野中郷常年會職環販は、金英野区では、大学の展別で、大学の展別で、大学の経験で中郷である。 反則注意から 隆華退場棄城

遠來の益文軍捷つ

通信販壽

龍川島の蛇

**大連代表出發** 

飯田氏送別會

眞 分

院代内金五百六十個な

にて層氏が突系機革派にて層氏が突系機革派

分譲致しま **今回池ざらへの** 爲 め多年飼育中の大和産典題 ・耕鯉・大鮒を

來る十三日(日曜日) 0 話 五 Λ O魚 七

掛品養社會式株產物井三 炭素 理科西斯佛

自 111 料 0

理料御席會 ニナ店器樂業山)

五门部敷造大

# フランス出發僅か四時間餘で 修理完成次第に續航

對馬の被害

ては全戸数八十戸中二、三戸を終れるので最も総然割だらき継り取るとのでよりのでは、とのでは、とのでは、これであったでは一番がある。 船沈沒

名数助されたが緊緊被接触薬材氏 を放射されたが緊緊被接触薬材氏 を放射されたが緊緊を緊地震緩棄一 を放射されたが緊緊を緊地震緩棄一 を放射されたが緊緊を緊地震緩棄一 を放射されたが緊緊を大きに強力を を表現したが緊急を を表現したが緊急を を表現したが を表現を をまる を 十二名生死不明

長崎水產練習

参楊日 加資 格所時

九月二十七日午前九時

田

大民會體

於理學博士眞島利行先生<u>(類開於學)轉錢正價拾</u>代圓五拾鏡

競技規定

起訴さる

記念消印

申込方法

郷託ら代表者名か以て申込に剛體名参加以名(正選手

日本化學總覽

第壹集第武卷 到明治計四年正價拾貳圓五拾錢料

諡 美華 完

**下込場** 所

後 主

参加規定

開東殿始紋廿五年記念のため九月一日およびその後三日間使用した特殊通信日曜時による常田の内記

慰金 について戦戦べたさころ悪弦では について戦戦べたさころ悪弦では をく同人のペテンにからつたこと をもの人のペテンにからつたこと を認むとと解するだけの可能性なく を表してので解氏は十一日屬氏を を感むした

又同仏楽部ラグピー、

為の徹底的適法の手段に出ずるの止む無き事を謹告。 扱の向有之候場合は弊店は代理權の侵害に對して旣 南滿洲に於ける代理店に御座候に付同製品を弊店の 「難店は米國QRSデイヴライ社製品デイヴライ映寫」

日本及南洲洲親代聖店 大連市西通

横属銀座二丁

日曜日の催し

闘東廳からも

『蛇島』を探検

専門家を乗せ映書にも收め

8

けふ逐海丸で出發

性別の映画學者及び即一門家は最も職質な蝦夷脳陰寒として等しくサントニンと性別の映画學者及び即一門家は最も職質な蝦夷脳陰寒として等しくサントニンと

家庭常備驅蟲藥 即與歐際。身際

天の川登電所冷却池に於て ●明百分三十五銭 健一見二個以上

富

大連

市

「町連館街

商

かば焼ぎ き 柳川なべ 金ぷら なぎ 八十錢 一圓卅錢

が、青

**雲商** 三 下 下 店

は 得權の擁護の 承諾無く御取

保经

傷、運動、咽喉痛、

運動後の筋肉疲勞、

筋肉痛、

肩凝り、腰痛、

良

被びは光の底に出る前に、下の野いがに明るく脈らされてありは泉水のがから流れて来るが明なく脈らされてあ

かりが黙くはためいてある。 かっぱいのまであったが 館に、彼女ののけ出たのでなるやうだった。かや域に似けつ

でして彼好はその歌の心れて

わくから飲わくと

を被女は洋館の下版に無事に逃りましらのやうに見せた。 動りましらのやうに見せた。

定の響きた立てた。様て戸を

が病果た落してゐる音が聞える。 秋の寂寞をの庭でさばやかな風

一三四五六七八九十二

大學、養勇氏

\*

そっ

3

力

1

12

りアは何う云ふ識かたえ子や教ひ

池田小

池兒科

品取

目扱

其他食料品物類、強物質、溶無物質、機械、小野田セメンスを種機械、小野田セメンスを利用の変形が、不動物質、変形、石を

軍

手

卸現 資金

山港

すかに聴えて来る女の恐びかくの者の経問々々にマリアは遠く

電線の灯に生きた。懐中歌劇だつ寒焼その高い三階の一室が輝いたの一室が輝い

都京玉をまいたやうに触られてる 歌家に飲た維育の空に、原践が

黒い人影

0

はないつた。彼女は紀ろ己のして 人の眼につくので掘ろしい驚めで こおごりしてその軽か恐の足に走った。魚が水を得たやうにマリアはた。 気が水を得たやうにマリアは

た程女のかく點の聴えて来た部様の繁味の中に立ち止まって、そうでは、一番製まった和学であるのでは、見いてるた。マリカではその部様の三世ばかり前の背景が、一番製まった和学であるのでは、一番製まった和学であるのでは、一番製まった和学であるのでは、一番製まった和学である。 でのもれて来たのは確にその問題となっています。今は聞えないが、女のかまたが目をないが、女のかきまった除子が目をあってはできまった除子が目

出すのなやめてすひ後い でもあるやうに全身を

赤毛染

が、却而毛のくせを いか、毛の質を傷め で、毛の質を傷め

價点

立ちさなつた。

た。 な意に思い首からたげたからだっ で意に思い首からたげたからだっ

放送,

連列級

XI.

一類 二十五兆

8

所滿業 在出張所 地所

华莊, 安東縣、奉天、

三
井
物
産

式株

業、浩船業及州帯事業物品販賣業、問屋業、

保険並に船舶代理

ないできた。 一人の女の姿がマリアに ちしく。一人の女の姿がマリアに ちんない。 でいれて、 そのガラス戸の前に

第一お徳用です

頑强



新發賣(粉製赤函) お試し下さい 0 船来 化粧品専門 英國ダルクロウス合計 英國ダルクロウス合計

分成効有の芽胚米

富量Bンミタイヴ 服用上何らの不良 ため三は五なの ため三は五なの

店商義野塩苣

-- [2]-

エキシカ及びホスピン 五〇〇瓦公司成績)二五〇五公司統 (全国の知名遷店に販賣す)

野、塩料食式等合、巴、二

表)七一〇二

の素は の至

十二日標等天から来達したが、高銀正副舞舞が大学事本は配市氏は救一ケ月振一時局について語る

地方的に解決期待

東連した 木村満鐵理事談

R存貨員は外人に對し充分の保護を與へるだけの能力がないのだが各地所住の日米其像時間人は不断に興味や兵士から危害を加へらる。何きあるが、支那が年地子で支那の緊張を避び が大手では、日報、ロンドンタイムスは十一日の計談で日本の中村大學問題はソーパン事代

倫敦タイムスの論評

側の首分に耳を傾けるの如何に慎しむべき必要あるかを示唆解約上の権利まで蹂躙されるを認識せるためだ、中村事件は今や徒に支荷に大立るかを語るもので、この事首には支那國民運動が満洲の日本の重大権益を無視中で最も關係ある日本軍隊が預習中飛行機から宣傳ビラル投下せる如き日本軍隊の香港

保護能力

中村事件はソー

パン事件の反覆

里要なる指示を與ふ

ポイコット

ジョア勢力を限迫しついある。

衝開始を理案の

大佐は來十四日東京發歸任し 本庄軍司令官に傳達

に詳細なる指示を與へた『東京特備十二日襲』上京中の土肥謀大佐は連川委譲水部派軍衛、所称省監尉と臨時のお、東京特備十二日襲』上京中の土肥謀大佐は連川委譲水部派軍衛、所称省監尉と臨時の結果萬一東京特備十二日襲』上京中の土肥謀大佐は連川委譲水部派軍衛、所称省監尉と臨時の結果萬一東京特備十二日襲』上京中の土肥謀大佐は連川委譲水部派軍衛、所称省監尉と臨時の結果萬一 支那當局に外人の

一名の刺客に

閻氏襲ほる 郷里の住居附近にて

奉天軍少壯派に

强硬論者が多い

青木中佐の視察談

田中市長の辭書

が製低する第二国真は高氏と『華天 ないなさんで……。 本無統なら不思議しないがさいふ

蒲銭の経費節約 中村事代を止むた得不認め始め 土戦争これから始まる。

紐育事務所

愈々廢止

支那側の措置を諒とし

5の希望もカリ辛島民政器長の手 倉総職会とせるる 会総職会とする

關東廳に申法

認可は十四、

井上軍曹事件解決

ける、田代領事發表

地域して民衆を苦める。政府はそ 所に失覚はある。

路派遣員

四氏の選任を了る

「はいあ、こを走らやうさいふの 

事候に即じつい若へて見たい 後の異るに借って着るとく

衝突日廿日前後か 本に数する 画民

さ市長の静表拠出に同幅が寄せて さ市長の静表拠出に同幅が寄せて されるが市長の静意顔を聞いの さ十一日の協議会があゝこた結 果に終つた事を大内議長から報 景に終つた事を大内議長から報 景に終ったいだ次第である | 健保事長大佐 草場 最已 連輪維務機能 で正式要表は餘程運れ入機標準 海鐵聯令(十二日社報) 李大專務所地市課長

がへ歩いて来た

像と歯村は大丈夫ださ懸った。

感なかけながら、松下倒は近

進物用の

菓子罐容器は

京都製罐所

さ、先がから松下伯殿が、彼の

開において田中市長と級三十分に開いまれた。午前十時市長戦器 辭任事情 永井市助役出勤

後任は威氏兼任 長一郎は(上海日本紡績職

理事。十二日 せてやることにしてるますのでれー 「脚胞らといちやアありませ

大れには触れたくないやうに「で

京都市大和小路五條下ル三丁

及替大阪一五六二八番 图三七五三番



、狐(茶及黑)。アストラカ

す 御希望の向は御來店現物御覧を揮毛皮多數到着卸賣に限り廳便

ソウエト聯邦通商代表部



いふのでせいふやうなものには、興味を



ルイは十四、 配総は神越しさする 地では十四、 五山以後事務能指域 が大きな整へた、 105 歌声歌に 東京特権十一日曜日衛本関東を長官十四日に継京 政友委員會決議

それから二人は殿下を進んだ。 それは狭い殿下であつて、沖艦 を右に室が遊んであて、天州に が いこれは砂糖ですよ」 が、これは砂糖ですよ」 が、これは砂糖ですよ」 かい これは砂糖ですよ 「依職に動する後悔さ」 0

大阪市西區和京 代本店車東

吉田勝惠商店用通三丁目十八番地

耳遠き人の

本器は米國デクトグラフ會本器は米國デクトグラフ會

祖元のンアフ

元人権シアプロセ級制 店 変版紙 ンアフロセ外内 (側面影製物) 五七日丁五町英医東市駅大

雨を衝いて黑島丸で出發

恵兵上りを逮捕

両飛を大連聯で發見されて

來朝する米選手 ラインアップ決定發表

進營省下

大家作品を贈る 中國水害救濟のため

大沽方面らし 千種防疫係主任語る

ロギ山町大連機械工場係内医外での機械が続れかいりその下数となり機械を乗の作業中限つて絞っ順や

会社 正隆銀行旅粉課等に高点を添入工作銀行、高点を添入工作のでありたる。 一日午後一時に御菜行のりたる。 一日午後一時に御菜行のりたる

市內沙河口京町一三二十二十四門助へ

鐵板倒れ即死

女給仕二名採用

の策に出るが大石橋その地近後の策に出るが大石橋その地近後

ノーシン

現では十三日池ざらへとするこれの一分譲 天の川景館所沿 及前線的

び傷、やけど、くつづれ 水準機嫌物があそうごね

隨意 醫學博士 森本辩之助 大連市大山面三越降日 ノドノビョウ 電話五三七の番



事所へ置かれましても機能 子製で 寄生的優美でお

ダンス御目玉

- 概繁着給、木政子はまる六日午

品附大費出しを致

一番油が近日景

果の入らないおいもい







自動車組合 役員選學 署で命令 技な際がするのであるが、競技験 はな際がするのであるが、競技験 が表示を構造した。 を構造するのであるが、競技験

・ 大南京に向ふ様・ 着はハルピン総由モスコー派と戦」く支配で数据を行ふ事となった。 後は四、五日滞 【ハルピン十二日登】ロシャ交通 の直通旅客弾車巡航後話につきに大阪に飛ぶ線 【ハルピン十二日登】ロシャ交通 の直通旅客弾車巡航後話につきに

莫斯科浦鹽間の

旅客列車を直通

日本着は十四日早暁

夜間着陸に

爬山日本へ飛來する勘定になる

郷房子、公共機能の満銀指令電話機を破職に切職されて居ることか登見した。これ等場域の震災に機動の密集これを緊張しませい、大きに乗びの密集これを緊張するる共に乗動帰職に派出所を守らせ急戦により数職子、四平、東致に機動の密集これを緊迫するる共に乗動帰職に派出所を守らせ急戦により数職子、四平、東京・が養車後午前二時ごろ聚態緊急出所(派出所以三名)へ五名組の即級基準したので必免前と時長春春列車警察員及出巡査の職した懐戦によれば同列車(大連十一日午後十時三十分前と時長春春列車警察員及出巡査の職した懐戦によれば同列車(大連十一日午後十時三十分

近在で二名を殺傷す

邦人監督を

六大學揃い 法明戦で火蓋を切る グ戦始まる るから縁程警戒の奈要があるるから天津方面にもあるらい、本年は永舎の結果指摘かがまく 高潮に入る可能性は光旁

大連

部の内に徐潔久しき去大學リーグ 【東京十二日費】全國ファンの元 『長崎十二日巻』十一日午後は館から、原発 から長崎に入港の支部登鉱離域、輸性大港院 別、「百五十場)水夫郷飲人复三 布すれば密 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 に女上機が原で機器の複彩直接。 那漁船に眞性

員性ミ認めて滿鐵で防疫處置

營口驛で乘客望

ラ死亡者發見

便所くさみ止は

ウジ退治で

**東東縣** 文 丸又食料品店 直輸入 多數新着

が見科際

加し體育大會 五八百名

俄然大連の

フェー常連界に

一大センセイションを

カフェーコンパル 惹き起した



銀を救ふ途

來る十七日からバリで開催

15,301,2 10/646 2.95 E98.3 178.7 151.041.0 32.272.2 35623 1793 644.5 300.1 14/62/6 5,100,0 1.819.6 948.3 600.9 13.1 62.8 287.0 48.3 275-6 42.6 67.2 URIE 221.8 450.9 34.4 98.2 979,8 516.0 175.7

19.340.0 755.3 813.1 1.460.2 68.8 824 2,000.4 1.021.9 4.578.9 2,736.9 11.8 77.9 651.9 11604 832.6 3684

也 と地域 於厚司 五店 三質多 山益

揚馬 院醫 江庄揚馬 ルトクド

大阪商船縣大連支店大阪商船縣(大連支店大阪商船縣) 大阪商船縣(大連支店 東語四二三七番 東部四二三七番 東部四二三七番 東部四二三七番 東部四二三七番

大阪商船

同時に滿鐵商事部の人事を異動

(四)

十五、六日頃に移

一、現在の石炭銀の事務分享、たり近く職事都の戦線の一、現在の石炭銀の事務分享、たり近く職事都の戦線の一、現在の石炭銀の事務分享、ため近く職事都の戦線の一、現在の石炭銀の事務分享、ため近く職事都の戦線の一、現在の石炭銀の事務分享、ため近く職事都の戦線の一、現在の石炭銀の事務が登り地質、大、具春、京城ンの外新に整安東の支所を昇格して販賣立安市が最近に本社が、更にこれが開かるこれを開発して、現在の石炭銀の事務が設め、大、具春、京城ンの外新に整安東の支所を昇格して販賣立安市が発展して、現在の石炭銀の事務分享、大、具春、京城ンの外新に整安東が最近で、たり目下十一、由在活動の峰地を奥へる。

特產物特定運賃

十一月まで延長

近く滿鐵が發表か

對支貿易 定期的に、しかる迅速に 指定順送車の運轉

滿洲經濟界 今冬が思ひやられる 村井大連商議會頭の縦横談

> 、幾後、関原、四平街。 高、 四年、 四

> > 間の直通はいた

車増養

取引所

大豆(裸物五八七〇五八六〇大豆(裸物五八七〇五八六〇八豆) 中來高 二十車 三等大豆 出來不申 三等大豆 出來不申 包 来 西三四 四萬九千枚 四三〇〇四十來高 四三〇〇四三〇〇四十來高 三車 出來不申 包 来 四三〇〇四三〇〇四十來高 三車 出來高 三車 出來高 三百箱 四三百箱 四三百箱 四三百箱 四三百箱 四三百箱 四五百箱 四五百箱 ◆現物前場(銀建) ◆現物前場(銀建)

● 存储域处行 河南鬼

本四一〇

質氣深はず ・物の定制に一般に関見違りで人 ・物の定制に一般に関見違りで人 ・物の定制に一般に関見違りで人 ・機は「且つ銀高か映りて各二共 一層軟制機に大引した ・ク定期前場(単型) ・大 で(軟調)単位原 は 月 奈付 高値 安値 大引 ・ 大 元の 天心 天心 ・ 月末 天心 天心 天心 ・ 一月末 天心 天心 天心 **深**行司